

第六十五回
帝國議會
貴族院

健康保險法中改正法律案特別委員會議事速記録第四號

付託議案(追加)

衛生組合法案

傳染病豫防法中改正法律案

産師法案

昭和九年三月十五日(木曜日)午前十時十分開會

○委員長(伯爵松本宗隆君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス、前回ニ續キマシテ、癩

兵院ノ方ノ御質問ノ繼續中ト存ジマスカラ、御質疑ガアレバ願ヒマス……私、一二點伺ッテ置キタイノデスガ、ソレハ現在ノ癩

兵院ノ場所ハ或ル富豪ノ寄附ニ出デタルコトト承ハッテ居ルノデアリマス、ソレガ此度適當ノ地ヲトシテ移轉サレ、改築サルルト云フコトデアリマスルガ、サウ致シマスルト、現在ノ大塚ニ在ル土地ハ賣却セラルルコトニナルノデアリマスルカラ、ソコデ其土地ノ地價ハ私存ジマセヌガ、假ニ其土地ガ五十萬圓ヲ超エ、六十萬圓乃至七十萬圓ニ達シタ場合ニ、五十萬圓ハ移轉改築ニ御使用ニナリマスルガ、後ノ残り十萬圓ナリ、若クハ二十萬圓ナリ、賣却代金ノ残リト云フモノハ、是ハ癩兵院ノ基金ニ屬スルモノト存ジマスルガ、一應御答辯ヲ得テ置キタ

イト思ヒマス、ソレカラ今一點ハ癩兵ニ付テ之ヲ慰メルニハ一番ノ方法トシマシテハ申ス迄モナク、其者ノ縁邊故舊ガ訪ネ來ッテ、時々ニ家族の團欒ヲ爲スト云フコトガ

一番、此傷兵ニ對スル最上ノ慰問方法デアラウト存ジマスルカラ、斯ウ云フ機會ヲ度度與ヘラルルコトヲ望ムノデアリマス、無論之マデニハ其邊ノコトハ、政府ハ御如オナク其途ヲ探ッテ居ラルルコトト存ジマ

スガ、此度改築ニナリ、色ミ規模ガ擴大サルルコトニナリマスルカラ、ドウカ此家族的團欒ノ機會ヲ與ヘルト云フコトヲ一ツ層御考ヘヲ願ッテ、サウシテ彼等ヲシテ最モ餘生ヲ樂マシムルヤウニ出來ルヤウニ、一ツ御

配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、現在ノサウ云フ方法、將來ニ對スル御考等、此際伺ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(丹羽七郎君) 只今ノ第一ノ御

尋ネノ、從來癩兵院ノアリマス土地ガ今回不用ニナリマスニ付テ之ヲ賣却シテ、サウシテソレガ今回ノ新營費五十萬圓ヲ超エタル其殘額ハ癩兵院基金ニ積立テルカドウカト云フ御尋ネニ付キマシテハ、御話ノ通り、是ハ基金ニ積立テテ置キマシテ、其利

子ヲ以テ癩兵ノ爲ニナル事柄ヲ致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、全ク仰セノ通りデアリマス、第二ノ家族的ノ團欒ヲスルト云フヤウナ機會ヲ成ルタケ作ルヤウニト云フコトニ付テノ御尋ネデゴザイマスルガ、從來モ此點ニ付キマシテハ、始終出來得ル限

リノコトヲ致シテ居ッタノデゴザイマスルガ、今回新營イタシマスルニ付キマシテハ、特ニ其點ニモ留意ヲ致シマシテ、入院者ノ居室ノ如キモ二部屋ト云フモノヲ設ケ、又他ノ部屋、殊ニ入院者ノ部屋トハ區切ラレルヤウナ形ニナリマシテ、入口、ソ

レカラ居間、控室、椽側ナドト云フモノヲ造リ、サウシテ家族ノ來タ時ニ、其處デ一軒ノ家ニ入ッタヤウナ氣持ニモナレルヤウニト云フヤウナコトモ心配イタシマシテ、今回設計イタシテ居ルヤウナ次第デゴザイ

マシテ、今後ニ於キマシテモ、只今ノ御希望ヲ交ヘテノ御質問デゴザイマシタガ、其御希望ニ副フヤウニ十分イタシタイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 本案ニ付キマ

シテノ御質問ハ終了ト認メマシテ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○金杉英五郎君 チョット私簡單ナ御尋ネ

デスガ、亞米利加アタリノ癩兵院ノ狀態ヲ見マスト、ナカノ慰安ノ機關ガ充實シテ居ルヤウデスガ、ソレヲ悉ク眞似ル必要ハナイノダガ、コッチナドハドウ云フ具合ニナッテ居リマスカ、ソレヲ――

○政府委員(富田愛次郎君) 慰安ノ種類モ

色ミアリマスガ、御覽ヲ戴クト能ク分リマスガ、癩兵院其モノノ設備ニ付テモ、庭園等ニ付キマシテモ、普通ノ庭園ト違ヒマシテ、或ハ動物ヲ置イタリナンカ致シマシテ、絶エズ外部ノ精神の慰安ヲ講ジ、或ハ花ヲ植エマシテ、常住自然ノ慰安ヲ得ルヤウナ設備ヲ現在ニ於テモ致シテ居リマス、將來トテモ、サウ云フコトニハ十分注意シナケレバナラスト考ヘテ居リマス、内部ニ於キマシテモ、時々講演ヲ致シマシタリ、色ミノ法話ヲ致シマシタリ致シマシテ、或ハ茶話會式ノモノヲ致シマシタリ、内部的ノ娛樂等ニ付テモ注意ヲ致シテ、慰安ノ方法ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

○金杉英五郎君 宜シウゴザイマス

○金岡又左衛門君 之ニ多少間接カモ知レ

マセヌガ關聯シタコトニ付テ、海軍政務次官モ御出席ニナツテ居リマスカラ、チョット御尋ネヲ致シマス、此軍部ノ公務上廢兵傷兵ヲ出スト云フコトハ、近時飛行機ノ墜落ナリ、其他色ミノ關係上承ハリマスガ、最近友鶴ノ顛覆ヲ致シタコトニ付キマシテ、是ハ御承知ノ如ク、制限外ノ艦艇トシテ最新式ノ有力ナル艦艇ト承ツテ居リマス、是ガ造船上何カ不備ナ點ガアッタノデアリマセウカ、サウ云フコトヲ此際承ハルコトヲ得マスレバ幸ヒダト思ヒマス

○政府委員(伯爵堀田正恒君) 友鶴ノ遭難ニ付キマシテハ誠ニ遺憾デゴザイマシテ、昨日日本議場デ大臣カラ御報告申上ゲタ通りデアリマス、而シテ御尋ネノ遭難ノ原因ニ付キマシテハ、今日ノ所分ツテ居リマセヌ、御承知ノ通り野村大將ヲ委員長トシテ、從來ニ無イ査問會ヲ組織イタシマシテ、徹底的ニ調査スルコトニ相成ツタ次第デアリマス、船ノ構造等ニ缺陷アリシヤ否ヤハ分リマセヌ、サウ云フコトニ付テハチヨット今御答ガ出來兼ネルノデアリマス

○金岡又左衛門君 近來陸軍軍用飛行機ノ墜落ヲヨク聞キマスガ、議會開會中三回カ墜落シテ居ルコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、内一回ハ低空飛行ヲシテ、鬼怒川水電

ノ配電線ニ觸レタ爲ニ、電線ニ觸レテ墜落シタト云フヤウナ、其他ハ發動機ノ故障上墜落シテ、貴重ナ犧牲者ヲ出シテ居ルト云フ、是ハ唯傳聞スル所デアリマスガ、陸軍ハ飛行機ノ能率ヲ舉ゲル爲ニ、工場ニ曳ニ角數ヲ澤山ヲ作ラサセルト云フコトデ、月ニ幾ラ此工場ニ飛行機ガ出來ル、數ヲ澤山作ルト云フ方ニ重キヲ置カレテ、ソレガ爲ニ優秀ナ飛行機ガドウモ出來ナイヤウナコトニナツテ、唯數ヲ作ルト云フコトハ、ソレハ用兵作戰上サウ云フコトガ必要デアルノデアリマスカ、唯數ヲ作ツテモ、優秀デナイ、「エンデン」ノ續カナイヤウナ飛行機ハ、是ハ果シテ實際上ソレデ宜イノデセウカ、唯數ヲ作ルト云フコトガ、是ハドウデアラウカト云フヤウナコトニ考ヘラレルノデアリマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(子爵土岐章君) 只今ノ金岡サシノ御質問ニ御答ヘ致シマス、飛行機ノ故障、事故ニ付キマシテハ、唯單ナル飛行機ト云フ機體其モノバカリニ依ツテ起ルモノデハナイノデゴザイマシテ、其「パイロット」ノ技術如何、又天候其他ノ事故ニ依ツテモ生ズルコトデアリマス、從ヒマシテ其事故ニ依リマシテ、ソレノ原因ガ違フコトト存ジテ居リマス、又機體ニ付テノ製作

云ミニ付テノ御質問デゴザイマシタガ、今日科學ノ進歩ニ從ヒマシテ、飛行機ヲ作リマスニ付キマシテハ、機材ノ検査、又其機材ヲ構成イタシマス所ノ物質ニ付テノ細カイ科學的ノ検査モヤツテ居リマスヤウナ次第デアリマシテ、只今御説ノ如ク、唯數ヲ作ルト云フ風ナコトヲ以テ製作ヲ致シテ居ルノデハナイノデアリマス、ソレノ民間ノ工場ニ註文ヲ致スニ付キマシテモ、ソレノ検査官ヲ配置イタシテ居リマシテ、其組立テヲ致シマス部分的材料カラ検査ヲシテ、然ル後ニ之ヲ組立テサスト云フコトニナツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、只今御心配ニナツテ居ルヤウナ點ニ付テハ無イト信ジテ居リマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、略ニ廢兵院法ニ付キマシテハ、御質問終了ト存ジマス、而シテ健康保險法ノ御質問モ終了ト認メラレマスカラ、討論ニ入りタイノデアリマスガ、軍部政府委員ノ御都合モアラウカト存ジマスルカラ少シク順序ハ顛倒シマスガ、先ヅ廢兵院ノ討論ニ移リ、而シテ其後ニ於テ健康保險法ノ討論ニ入りタイト思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵松本宗隆君) 然ラバ廢兵院法ニ付キマシテ、御意見ヲ伺ヒマス

○子爵梅園篤彦君 私ハ廢兵院法中改正法律案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、本改正案ハ君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲマシタ所ノ傷痍軍人ニ對シマシテ優遇ノ途ヲ講ズルト共ニ、其遺家族ノ保護ヲ厚クセムトスル所ノ趣旨ニ出タモノデアリマシテ、字句ノ如キモ現行法ニ於キマシテハ「廢兵院法」「廢兵院」「收容」ナドトアリマスモノヲバ、名譽アル傷痍軍人ヲ表徴スルノニ誠ニ相應ハシイ所ノ「傷兵院法」「傷兵院」「入院」ナドト云フ字句ニ改メラレテ居ルノデアリマス、又從來ハ救貧制度ノ立前トナツテ居リマスガ、本改正案ニ於キマシテハ特ニ重キ不具廢疾者ヲ入院セシメテ、適當ニ保護ヲ加ヘルト云フコトニナツテ居リマス、更ニ約二十六年前ノ木造建築デアリ、既ニ改築ノ時期ニ達シテ居ルノミナラズ、其設備、内容又時勢ノ進運ニ副ハズシテ、傷痍軍人ノ處遇上遺憾ナ狀態ニアリマスル現在ノ廢兵院ニ代フルニ、五十萬圓ノ巨費ヲ投ジテ完備セル傷兵院ヲ新營セムトセラルルナド、何レモ極メテ機宜ニ適シタ改正デアルト存ジマスルノデ、茲ニ雙手ヲ舉ゲテ本案ニ賛成イタス次第デアリマス、唯茲ニ一點希望ヲ申述べマ

シテ、政府ノ御考慮ヲ煩シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ全國的ニ傷兵院ノ恩惠ニ浴セシムル爲ニ、國內數箇所ニ之ヲ分チマシテ、適當ナ場所ニ傷兵院ヲ擴張新營セラレタイト云フコトデアリマス、蓋シ之ニ要シマスル經費ハ本事業ノ性質上、國家財政ノ窮乏ノ際デアリマスルガ、出來ルダケ其捻出ヲ圖ラルト共ニ、或ハ廣ク其基金ヲ募集シ、或ハ篤志家ニ懇ヘテ機宜ノ處置ヲ執ラレタイノデアリマス、サスレバ其實現ハ決シテ困難デハナイト堅ク信ズル次第デアリマス、此希望ヲ申添ヘマシテ、本案ニ賛成イタス次第デアリマス

○金杉英五郎君 只今梅園子爵ノ賛成ノ趣旨ハ、誠ニ徹底的ニ具合ヨク行ッテ居ルト存ジマス、私モ賛成イタシマス

○平尾喜三郎君 私モ梅園君ノ説ニ賛成イタシマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 私ハ先達テ此傷兵院ノ所管ヲ軍部ニ戻スコトガ出來ナイカ否ヤト云フコトヲ御尋イタシマシタガ、政務官ヨリ、今ノ所ハ戻ス意思ガナイト云フ御答辯デアリマシタ、併シ私ハ之ニ付テ非常ニ希望ヲ持ッテ居ルノデスカラ、願クハ陸軍大臣ノ御出席ヲ得マシテ自分ノ希望ヲ述ベテ、サウシテ大臣ノ御再考ヲ煩シタイ

ト存ジテ居リマシタガ、本日ハ大臣ハ衆議院ノ方デチヨットコチラノ方ニ外セナイト云フコトデアリマスカラ、已ムヲ得ズ私ハ希望ヲ述ベテ置キマシテ、之ヲ速記ニ付シテ大臣ニ御傳ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス、希望ヲ述ベタイノデアリマス、君國ノ爲ニ一身ヲ捧ゲタ兵士ハ戰歿スレバ、護國ノ神トナル、運命ガ死ヲ與ヘナカッタ場合ニハ、精神又ハ身體ニ重傷ヲ受ケテ、最早一個ノ自由人トナルコトハ出來ナイト云フ、誠ニ不具癡疾者ハ謂ハバ只形骸ヲ存スルト云フ形デアリマスルガ、併ナガラ國家ニ取ッテハ斯カル勇士ハ護國ノ華デアリマスカラ、完全ナル私ハ取扱ヲサレナケレバナラナイモノト思フノデアリマス、ソレニハ今回ノ改正ニ依レバ、從來ノ救貧制度ト云フ立前ヲ離脱サレテ、サウシテ全ク觀點ヲ變ヘテ、斯ル勇士ノ終生ヲ國家ガ保護シテ行カナケレバナラスト云フ立前ヲ取ラレタト云フコトハ、誠ニ適正ナコトデアッテ、我々賛成ヲ表スルノデアリマスルガ、何故ニ一歩進メテ之ヲ軍部ノ所管ニ戻サレザルカヲ私ハ訝ルモノデアリマス、遊就館ニ於キマシテハ幾多ノ記念品トシテ、黨ラレタル軍旗、軍刀、銃砲ノ陳列ニ依テ、古武士ヤ又ハ日清日露ノ勇敢ナル將兵ノ、如何ニ奮闘振ヲ僣

バシテ居ルカト云フコトハ我國ノ尊イ寶物トシテ、私ハ拜觀シテ居ルノデアリマス、然ラバ即今眼ノ前ニ重傷ヲ受ケテ、惡戰苦闘ノ創痕淋漓タル將兵ハ、私ハ軍刀、銃砲以上ニ生キタル尊キ記念デアルト私ハ思フノデアル、而シテ我皇軍幾十萬ノ兵士ニ取リマシテハ、斯ル將兵者ニ向ッテ、ソレハ戰鬪其モノノ權化神トシテ之ヲ敬シ、又同僚ノ典型トシテモ、多大ナル敬意ヲ拂ハルベキモノト私ハ確信スルノデアリマス、ソコデ且重傷者其人ニ付テ見マシテモ、成程其將士ハ形ノ上ニ於テハ不具癡疾者デアリマスルケルドモ、其將來ノ心理狀態ト云フモノハ、恐ラクハ夢現ニモ今尙ホ彈雨ノ間ニ馳驅シ、戰鬪ニ起臥シテ居ルト同ジヤウナ氣持、心理狀態ニアルベキモノト、私ハ察セラレルノデアリマス、然ルニ唯單ニ之ヲ承ルト、一ノ事務ニ過ギナイ、事務上ノ關係トカ又ハ單ニ兵籍ヲ離レタト云フヤウナ、一片ノ理由ニ依テ之ヲ片付ケラレルト云フコトハ、如何ナモノデアリマセウカ、申ス迄モナク、我國ノ傳統武士ノ情ト云フモノハ、斯ル細ヤカナル理由ニ依テ裁カルモノデハナイ、武士道ハ情誼ノ厚イ所ニ上達シテ行クモノデアリマスカラ、斯カル勇士ノ末路ガ不幸ニシテ、家庭ニ於テ休養ガ出

來ズ、已ムナク家ヲ離レテ、獨リ入院シナケレバナラナイト云フ境遇ニ於テハ、私ハ當局者ハ熱淚ヲ濺イデ取扱ヲ厚ウセラレナケレバナラナイコトト思フノデアリマス、且餘生幾何モ無キニ、ソレガ軍部諸官ノ手ニ於テ終焉ヲ告グルト云フコトハ、其人ニ於テモ亦以テ瞑スベキト私ハ信ズルノデアリマス、ソレヲ僅カ百名内外ノ負傷兵、ソレヲ軍部ガ世話ガ出來ナイト云フヤウナコトハ私ハナカラウト思フ、又基金ニ於テモ、今日ノ狀況ヲ御覽ニナッデモ、君國ノ爲ニハ兵器獻納ニ、旺盛ナル國民性ヲ表現サレテ居ルノデアリマスカラ、基金ニ於テモ軍部ガ相當御考慮サレルナラバ、私ハ十分基金ヲ増スコトガ出來得ルト思フ、其點カラ見デモ軍部ガ御世話ニナッデ然ルベキコトト思フ、今回改正ノ點ヲ見マシテモ、其「癡兵院」ヲ「傷兵院」ニ改メ、「收容」ヲ「入院」トスル、即チソレハ文字ノ上デアリマス、名稱ノ上デアリマスケレドモ、ソレスラモ勇士ヲ處遇スルニ於テ、麗ハシキ名稱デナイト云フコト迄モ、政府ハ非常ニ同情アル御考ヘデ、其名ヲ美シクサレタノデアリマス、又其場所モ現在ノ所デハ十分ナラザルガ故ニ、一層進ンデ、健康ニ適スルヤウナ土地ヲトシテ、其處ニ移轉ヲシ、又新ニ其處

ニ新營ヲ以テ計畫サレト云フコトハ、政

府ハ誠ニ厚キ同情デアリマスルガ、併ナガ

ラ私カラ見レバ、ソレハ形ノ上ニ於テノ、

非常ナ御厚意ノ現ハレデアリマスルガ、何

故ニ今一步進シテ、精神的ニ御考ヘニナラ

ナイカト云フコトヲ私ハ思フノデアリマス、

私ハ斯様ナ希望ヲ以テ、大臣ガ御出席ニナ

レバ、直接御耳ニ入レタイト存ジ、而シテ

大臣ニ何等カ御答辯ヲ得タナラバ幸甚ト存

ジマシタガ、サウ云フ事情デ、私甚ダ遺憾

ニ思ヒマスガ、ソコニ速記録ニ止メマシテ、

サウシテ兩軍部次官ヨリ大臣ニドウカ

御傳達ヲ願ヒタイ、併セテ軍部ノ御再考ヲ

願ヒタイノデアリマス

○金杉英五郎君 只今委員長ノ御希望事項

ハ至極御尤モナコトデアリマス、其希望事

項ヲ記録ニ止メテ當局ノ御考慮ヲ煩ハスト

云フコトハ、誠ニ適切ナコトト存ジマス、

是ニモ賛成イタシマス

○委員長(伯爵松本宗隆君) 他ニ御意見ガ

ナケレバ、採決イタシタイト存ジマス、癡

兵院法中改正案ニ付キマシテハ、御異議ア

リマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

案ニ移リマス、サウシテ討論ニ入リマス

○金杉英五郎君 本案ニ對シテ、本員ハ當

局ノ詳細ナル、各般ニ互ニ御説明ヲ信ジ、

尙ホ既往ニ於テ現在ノ當事者ガ誠心事ニ當

ラレタルコトヲ能ク知ツテ居リマスルガ爲

ニ、本案全部ヲ無條件賛成スルモノデアリ

マス、唯此際簡單ニ二、三ノ私見ヲ申述ベ

マシテ、世ノ中デ誤解サレテ居ルコトノ一

端ヲ解キタイト存ジマス、御許シヲ願ヒマ

ス、第一ニ總テ社會政策ナルモノハ其國ノ

風俗、習慣、人情等ヲ洞察シテ施行スベキ

筈ノモノデアリマス、過去二十年間ニ於ケ

ル我國歴代爲政家ノ案出實施セラレタル社

會政策ナルモノハ、悉ク歐米ノ模範デアリ

マス、從テ我ガ國情ニ適セザルモノガ少ク

ナイノデアリマス、所謂誤レル社會政策ト

見做スベキモノモ少クタイト云フコトハ爭

フベカラザル事實デアリマス、併ナガラ如

何ニ全智全能ノ人デアリマシテモ、萬全ヲ

期スルト云フコトハ無理ナルコトデアルト

信ジマスノデ、是ハ已ムヲ得ザルコトデア

ルト存ジマスル、率直ニ申シマスレバ、健

康保險法ノ如キモ當初ニ於キマシテハ、私

ハ尙ホ尙早ナルヲ唱ヘタル者ノ一人デアリ

マス、其理由ハ我ガ日本帝國ノ如キ一君萬

ノト、歐米諸國ノ如キ個人主義、自由主義

ノソレト同一視スル爲ニ往々誤レル社會政

策ヲ輸入スルコトニナツタノデアリマス、例

ヘバ健康保險法ニ付テ申シマスレバ、古來

我國ノ醫師ト患者ノ間ノ溫情的美風ハ、他

ノ諸國ニ於キマシテハ見ルベカラザルコト

デアリマス、〔醫者ノ御禮ト谷間ノ百合ハ取

リニ行カレズサキ次第〕ト言フコト迄モ昔

カラアルノデアリマス、而シテ三十有餘年

前醫師會ガ醫療制度ヲ定メタル後ニ於キマ

シテモ、尙ホ多數ノ醫者ハ官ノ命令ヲ受ケ

ズ、公共ノ依頼ヲ受ケザルニモ拘ラズ、

密カニ貧困者ハ申スニ及バズ、資産家ニシ

テ一時的の不如意ヲ慰フル者ニ對シテモ、少

カラズ治療施藥シ來リマシタルモノデアリ

マス、此コトニ付キマシテ今ヨリ十五年程

前ニ、私ガ三年間ニ互リマシテ全國五萬人

ノ醫者ガドノ位ノ治療施藥ヲ致シテ居ルカ

ト云フコトノ統計ヲ徵シタコトガアリマス

ル、其五萬人ノ醫者ガ一年間ニ治療施藥ヲ

致シタル額ハ、凡ソ二千五百萬圓餘ニ達シ

テ居ルノデアリマス、加之醫師ハ支拂ヒ得

ル資格者ニ對シマシテモ、歐米ノ醫師ノ如

ク訴訟ヲ起シタト云フヤウナ例ハ殆ドナイ

ノデアリマス、御承知ノ通り歐米諸國ニ於

訴訟ハ少カラザルモノデアリマス、是ハ我

ガ國ニ於キマシテハ殆ドナイノデアリマ

ス、是等ノコトハ我國ニ於テモ醫者以外ノ

職業ニハ決シテ見ルベカラザルコトデアリ

マシテ、例ヘバ見ズ知ラズノ者ガ藥舖ニ參

リマシテ仁丹ヲ吳レロト云フ場合ニハ、代

價ヲ取ラズシテ渡スト云フヤウナ例ハ全ク

ナイノデアリマス、必ズ現金取引デ、一ツト

雖モ只吳レト云フヤウナコトハナイノデア

リマス、右ノヤウナ事實ヨリ推シテ見マスレ

バ、健康保險法ニ依ル被保險者ノ大部分ト云

フモノハ、元來大手ヲ振ツテ治療施藥ヲ受ケツ

ツアツタルモノデアリマス、ソレ故ニ當初健

康保險法ノ施行セラルルト云フ噂ガアリ、又

之ヲ施行セラルルニ當リマシテ工場主、或

ハ被保險者トナルベキ労働者等ノ間ニ此法

ニ對シテ不滿ノアリマシタルコトハ、是マ

デソシナコトヲシナクトモ、大部分ノ醫者

ハ治療施藥ヲシテ吳レタノデアルト云フ考

ガ頗ル多カッタノデアリマス、而シテ此法ノ

施行セラレタル後ニハ、醫師ト患者トノ間

ニ古來存シテ居ツタ所ノ溫情的美風ハ、自然

ト大イニ消失スルヤウニナツタノデアリマ

ス、健康保險法ト云フモノガアツテ丸デ施

療同様ノ仕事ヲセナケレバナラヌ立前ニ

ルト云フヤウナ馬鹿氣タコトハナイ、ト云フヤウナ觀念ニナツタコトハ既ニ溫情的美風ガ消失シタ一ツノ印デアリマス、併ナガラ既ニ法規トナツテ現ハレマシタル以上ハ、良民ハ國法ニ遵ハナケレバナラスト云フ原則ニ從ヒマシテ、大イニ其運用ヲ善良ニ致シテ萬遺漏ナキヤウニシナケレバナラストモノト考ヘルノデアリマス、而モ此法ハ既ニ七年間施行セラレ、特ニ現在ノ當局者ハ監督運用宜シキヲ得タルコトト、又醫師ノ漸次熟練シテ參リ、犧牲の精神ヲ以テ從事スルヤウニ相成リマシタル爲ニ、今日デハ社會施設トシテ效果ヲ收メ得ルノ狀況ニナタモノト見テモ差支ナイト思フノデアリマス、冀クハ今後醫藥並藥業ノ保護モ御考ニナリマシテ、能ク御考慮ニナツテ、益々圓滿善良ニ施行セラルルヤウニ切望スルノデアリマス、第二ニ、我等ハ醫師ノ權利ヲ尊重スルト同時ニ、藥劑師ノ權利ヲ尊重スルモノデアリマシテ、兩々相俟ツテ發達進歩スルコトニ依ツテ初メテ國民ノ健康ヲ保持スルモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ將來ハ醫、藥ノ分業時期ガ到來スルモノデハアリマセウケレドモ、如何セム今日ノ場合ニ於キマシテハ習慣ノ久シキ、患者ノ大部分ハ悉ク此醫師ニ對シテ醫、藥合併

ヲ最モ便利ナルモノト考ヘテ居リマスル狀況ニアリマスルコトハ、恰モ習慣トシテ賣藥ノ賣高ガ巨億ニ達シテ居ルノト同様デアリマス、賣藥ナドノ五億、六億ト云フヤウナ賣高ニナツテ居ルト云フヤウナコトガ、是ハ一ツノ習慣デアリマス、ソレト同ジヤウニ、醫師ニ藥劑ノ調合迄モ頼ンデ大イニ信賴スルト云フコトガ、是ガ一ツノ習慣ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ急ニ除リ拂フト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、而モ今日デハ段々藥業者ノ權利ヲモ認メマシテ、醫師ハ必ズ處方箋ヲ要求セラレタル場合ニ拒絶シテハナラスト云フ法規モ出テ居リマスル、所謂自由分業ノ狀態ト相成リマスルコトデアリマスルカラシテ、遽カニ分業ヲ望ムト云フヤウナコトハ餘程考慮シナケレバナラスコトト思ヒマスル、特ニ被保險者ノ如キ階級ノ人ニ於キマシテハ醫、藥併合ニ、即チ醫者ガ藥ヲモ調合シテ與ヘルト云フコトニ絶對ニ信賴ヲシテ居リマスル習慣ガアリマスルコトト、モウ一ツハ被保險者ノ階級ノ人ハ、人手ガ非常ニ不足ナモノデアリマシテ、一度醫師ニ診察ヲ頼ミ、其次ニ調劑師ニ藥ヲ貰ヒニ行クト云フヤウナコトハ非常ナル手數デアリマシテ、彼等ノ二重ニ時間ヲ費スト云フコトハ、言フベクシテ行

ハレ難イコトデアリマス、前申ス通り、若シ患者ニシテ處方箋ヲ望ムコトデアリマスルナラバ、自由分業ノ制度ガアリマスルノデスカラ、其望ム者ニハ自由ニ致スト云フコトハ當然ノ事デアリ、又處方箋ヲ要求セラレタル場合ニ拒絶スルガ如キ者ガアリマシタナラバ、是ハ嚴重ニ當局者カラシテ戒告ヲ與フベキ筋ノモノデアラウト思ヒマス、尙ホ大抵ノ病院ニハ藥劑師ガ居リマシテ、自然分業ヲ成シテ居ルモノデアリマス、モウ既ニ大キナ病院ハ固ヨリ、大抵ノ病院デハ分業ト同ジコトデアリマス、醫師ガ診察イタクシ、藥劑師ガ調合スルト云フコトハ即チ家ハ一ツノ家デアッタトシテモ、是ハ全ク分業制度ニナツテ居ルノデアリマス、加之健康保險醫師ノ數ハ三萬五千有餘、健康保險藥劑師ノ數ハ四千有餘ト云フノデアリマシテ、此數カラ申シマシテモ、今日健康保險ニ醫藥分業ヲ爲スト云フコトハ頗ル困難デアリマス、而モ寒村僻地ニ於キマシテハ藥舖ト云フヤウナモノガ殆ンド無イノデ、例ヘバ鑛山ダトカ、ソレカラ材木ヲ伐出スト云フヤウナ場所ニ於キマシテハ、到底大キナ調劑ノ出來ルヤウナ藥舖ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ出來ナイノデアリマス、此點カラ申シマシテモ健康保險法ニ於

テ醫藥分業ヲスルト云フコトハ無理ナ話デアル、又醫師ガ調合スルト云フコトニ付テ他ノ例ヲ引クノデアリマセヌガ、衆議院邊リデモ誠ニ蒙昧ナル說ヲ唱ヘテ居ルヤウデアリマスルカラ、是ハ大ニ天下ニ知ラセラル爲ニ、一通リ御話シテ置カナケレバナラス、醫師ハ看護婦、書生ナゾニ調合サセルソレガ危險デアル、斯ウ云フ話デアル、醫師ノ中ニモ多少心得違ヒノ者ガ無イトハ限リマセヌケレドモ、醫師ノ大部分ハ司命ノ大職トシテノ大ナル觀念ヲ持ツテ居ルモノデアリマシテ、書生ニシテモ看護婦ニシテモ、調合ノ術ニ長ケテ居ルモノデナケレバ決シテ取扱ハセナイコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、此點ニ付キマシテハ、寧ロ藥舖ノ調劑ニ於テ怪シムベキ所ガナイトモ限ラナイノデアリマス、何トナレバ藥舖ハ藥劑師ガ大抵一人デアリマス、主人若クハ主人ニ非ザルモノ一人ガ大抵普通ニナツテ居リマシテ、其一人ノ藥劑師ガ三百六十五日家ニ居ラレリヤ少シモ差支ヘナイケレドモ、朝カラ晩マデ三百六十五日、一人ノ藥劑師デ家ニ詰切ルト云フコトハ出來ル筈ノモノデナイノデアアル、大部分ハ小僧ナドガ調合シテ居ルヤウナコトモ、承ツテ居ルノデアリマス、醫師ノ書生若クハ看護婦ニ調合

サセルコトガ危険デアルト云フコトデアレバ、小僧或ハ女中ナドノ調査スルコト云フコトモ大イニ危険デアルト考ヘナケレバナリマセヌ、併ナガラ藥劑師ノ方ニ於キマシテモ、即チ藥舖ニ於キマシテモ、自分ノ調査セザル場合ニハ極ク熟練シタ者ニ調査サセルト云フコトヲ私ハ深ク信ジテ居リマス、決シテ看護婦或ハ書生ニ劣ラザルモノガ代ッテ調査スルコトハ、是ハ多少サウシテモ差支ヘナイノデアアル、ソレカラ衆議院デ屢、出タル、餘リ曖昧ナ話デゴザイマスガ、健康保險醫ノ一點數ト云フモノガ甚ダ少イ、即チ安價デアアルガ爲ニ濫診濫療ト云フヤウナ言葉ガ使ッテアル、又粗藥ト云フヤウナ言葉、或ハ古イ藥ト云フヤウナ言葉、是ハ大ナル間違ヒデアリマス、苟クモ健康醫トナリマシタルモノハ、極ク小部分ノ心得違ヒノモノヲ途クノ外ハ犠牲的精神ヲ以テヤッテ居ルモノデアリマシテ、濫診濫療ナドト云フコトノアルベキ筈ハナイノデアリマス、惡イ藥ヲ使フ、古イ藥ヲ使フ、是ガドウ云フ譯カ少シモ解ラナイ、苟クモ人間ヲ診察イタシ治療スル場合ニ粗藥ヲ使ヒ、古イ藥ヲ使フト云フヤウナコトハアルベキ筈ノモノデハナイノデアリマス、往々割ニ合ハナイ高價ナ藥ガアリマシテモ、之ヲ治

癒セシメント云フ場合ニ於キマシテ、人ノ想像モ付カナイ犠牲心ヲ拂ウテ居リマスルノガ醫者デアリマス、此點ハ世間デ大イニ誤ッテ傳ヘラレテ居リマスルカラ、此際能ク此點ヲ御諒知願ヒタイと思フノデアリマス、而シテ醫師ハ調査スベキモノニ非ズト迄言ウテ居ル人ガアリマスガ、是ハ亦非常ナ間違デアリマス、醫學ノ教育ノ中ニハ藥物學ト云フモノヲ非常ニ大切ニ修得イタシマスルコトト、又調劑學ト云フモノガアリマシテ、調査スルコトヲ別ニ教育シテ居ルノデアリマス、此點ノ心配ハ少シモナイノデアリマス、以上述べタルコトハドウカ天下ノ人ミガ高尚ナル心トナッテ、常識ヲ以テ判斷シテ貰フコトガ必要デアラウト私ハ思フノデアリマス、右自分ノ鄙見ヲ申述ベマシテ、全部原案ヲ賛成イタスモノデアリマス

○金岡又左衛門君 私ハ健康保險法中改正法律案ニ付キマシテ賛成ヲ表スルモノデアリマス、ソレニ付テハ茲ニ明確ナル條件、希望條件ヲ附シテ私ハ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、此健康保險法ハ是迄七年間實施セラレマシタ實績ニ鑑ミ……、幾多ノ不利、不便、不合理ガアルノデアアル、今回之ガ改正案ニ付テハ是等ノ不利、不合理ヲ改正

ヲセラルベキ筈デアリマシタガ、此點ニ付テ政府當局モ固ヨリ不利不便ノアル所モ承知シテ居ル、併シ之ニ付テハ完璧ヲ期シテ其不利、不合理ノアラザルヤウニスルト云フ政府當局ノ御聲明デアリマシタ、茲ニ原案ニ賛成スルノデアリマスガ、ソレニ付テハ私ハ茲ニ希望ヲ申上ゲタイノハ、元來此健康保險法ノ不利、不合理デアアル其根幹ヲ爲スモノハ、先日來政府ニ向ッテ屢、質問ヲ致シテ居リマスル醫藥兩制度ノ實施デアアル、是ガ利用セラレナイ、實施セラレナイ此點ヲ先日來政府當局又内務大臣ニ向ッテ、此點ヲ縷々質疑ヲ致シマシタガ、内務大臣ハ何時モ其醫藥兩制度ノ缺陷、不都合、不合理デアアルコトノ點ニ付テ一ツモ明答ヲ與ヘラレテ居ラナイ、唯是ハ從來ノ慣習デアルト云フコトヲ以テ支持ヲシテ居ラレルノデアアル、從來ノ慣習デアッテドウモ是ハ改メ難イト云フコトヲ申サレテ居ル、何遍申上ゲテモソレデアリマス、其從來ノ慣習ハイケマセヌ、ソレニハ斯ウ云フ危険ガアル、斯ウ云フ不合理ガアル、又實際上ノコトヲ申上ゲマシテ、其習慣ト云フモノハ之ヲ改メナケレバナラス、國家ガ既ニ國法ヲ設ケテ醫師法、藥劑師法ト云フモノガアッテ茲ニ國法ガ命ジテ居ル、又ソレニ依ッテ國家ガ藥劑師

ト云フモノハ現今ハ二萬四千ノ數ヲ數ヘル位ニ出來テ居ル、斯ウ云フ狀態デアアル、成程兩制度ガ茲ニ實施セラレテ居ルノデアアルケレドモ、之ヲ被保險者、患者ガ之ヲ實施スベク出來テ居ラナイノデアアル、先程金杉委員カラモ色々御話シニナリマシタガ、患者ナリ、被保險者ガ醫師ノ方カラ處分箋ヲ貰フト云フコトニナッテ居ル、醫師モ故ナクシテ處方箋ノ交付ヲ拒ムコトヲ得ズト云フ規定モアル、サウシテソレニ依ッテ、藥局カラ藥劑師ノ責任アル方劑ノ藥ヲ受ケルコトガ出來ルコトニナッテ居ルト云フコトデアリマスケレドモ、醫師ノ處方箋ヲ出スコトヲ恐ガル點、處方箋ヲ出スト云フ、事ニ依ッテハ蛇蝎ノ如ク嫌ハルル、ソレヲ患者ガ、診療ヲ受ケ、診察ヲ受ケテ居ル患者ガ處方箋ヲ請求スルト云フコトハ、是ハ十人ガ十人、百人ガ百人出來ナイノデアアル、ソレハ實際ニ於テ出來ナイノデアアル、詰リ此國法ト云フモノガ空文ニ終ッテ居ル、死藏サレテ居ルト云フコトモ縷々申上ゲタ、又醫師ノ方ニ於ケル調劑ニ依ッテ非常ニ危険ガアル、間違ガアルコトハ、是ハ社會ニ殆ンド知ラレナイデ、闇カラ闇ニ葬ラレル、藥劑師ノ藥局ニ於ケル間違ハ是ハ直ニ其黑白ガ分ッテ、其藥ガ不正デアアル、間違ッタト

云フコトガ正シク分ル、又實際カラ申シマシテハ、醫師ノ藥局カラ出ル方劑デモ間違ハ少イ、又少クアルベキ筈デアル、醫師ガ病家ヲ廻ッテ、サウシテ診察セラレルガ、藥ノ處方ヲ持ッテ病家ヲ廻ッテ居ラレル間ハ醫師ノ許ヘ行ッテ藥ヲ貰ッテ來ル、ソレハ其醫者ガ合サレルノデハナクシテ、或ハ看護婦カ、書生カ、女中ガ合セル、悉クサウ云フコトガ洩々トシテ行ハレル、病家ヲ廻ッテ居ル間ハ歸ッテカラ藥ヲ出スト云フコトハナイノデアル、廻ッテ居ル間ニ藥ヲ貰ヒニヤル、ソレカラ同ジ其病院ニ於テ、自宅ニ於テ診察ヲシテ居ラレル間ハ是ハ藥局ハ矢張り看護婦カ、書生任セデアル、醫師ガ其處ヘ行ッテ指圖セラレルコトハナイ、悉ク醫者ガ診察ヲシ、醫者ガ調劑ヲスベク規定シテアルノニ拘ラズ、ソレモ行ハレテ居ナイ、藥局ニ於テハ藥劑師ガ、是ハ專業デゴザイマスカラ、醫者ガ專業ニ於テ診察ニ應ズルノト同ジコトデ、藥局ニ於テハ藥劑師ハ調劑スベク專業デアル、先程金杉委員カラ、或ハ醫者ノ方ニ於テハ看護婦、書生ガ合シテ居ルカモ知レヌガ、藥局ニ於テハ小僧カ女中ガ合セテ居ル、ソレハ專業デアル、藥劑師ハ醫者ノ看護婦カ書生ガ合セルヤウナ決シテ無責任ナモノハ少イト思フ、是等ハ實際

上ノ問題デアル、元來唯從來ノ習慣、美風、斯ウ云フコトハ是ハ事實ニ即セザルコトデアル、先日モ其最近ノ例ヲ申上ゲマシタヤウナ譯デ、醫師ト云フ者ハ診療ヲシ、治療ヲスル、藥ニ付テハ藥物學ニ依ッテ其藥物ノ效能ガアリ、又調劑學ト云フモノモアリマセウ、藥品ニ對シテノ眞ノ鑑識ヲシ、試験ヲシテ完璧ヲ期スルト云フ方ノ學問ハ是ハ藥劑師デナケレバ出來ナイ、又是ハ第三者ニ於テ既ニ醫師側ニ於ケル、先達テモ御話シ申上ゲマシタ如ク、識見アリ、權威アル醫師ガ此コトニ付テ、學問ノ分科カラ言ッテモ、亦是ハ實際上カラ言ッテモ、醫師ノ收入ガ少クナルトカ、藥劑師ノ存在ヲ危ブマレルト云フヤウナ問題デハナイ、學問ノ分科カラ言ッテモ、一般社會ノ公衆ノ保健衛生ノ外ハナイト云フコトヲ、是ハ明確ニ所論ヲシテ居ラレル、是カラ言ヒマシテモ、私ハ是ハドウシテモ此分業兩制度ヲ實施セラレベキモノデアル、先達テ内務大臣ノ御答辯ニハ舊來ノ習慣ハナカ／＼改メラレナイト云フコトヲ御話シニナリマシタ、サウシテ「メートル」法ニ之ヲ比較セラレ、「メートル」法ノ如キハ、舊來ノ尺度法ヲドウシテモ一舉ニ改メルコトガ出來ナイ爲ニ、五年

間延期シタ、非常ニ人命ニ關スル、國家ノ保健衛生ニ關スル、國力ノ消長ニ關スル事ヲ、此醫藥兩制度ヲ「メートル」法ノ如キ、之ヲ比較セラレルト云フニ至ッテハ、是ハ誠ニ論外ノ至リデアリマス、是ハ詰リ内務大臣ハ、此兩制度ヲ否認スベキ材料ハ一ツモ無イト云フコトヲ茲ニ申上ゲタイ、茲ニ理由ガ一ツモ無イト云フコトヲ申上ゲタイ、又此我國ノ五箇條ノ御誓文ニアリマス、舊來ノ陋習ヲ破リ天地ノ皇道ニ從フベシト云フ既ニ鐵則ガアル、實際ニ於テ國家ガ之ヲ命ジ、國法ヲ定メ、又サウ云フコトニ社會ガ進歩シテ居ル、唯舊習デアル、陋習デアルト云フコトヲ以テ之ヲ改メラレナイト云フコトデアレバ、是ハ政府モヤラナケレバ、當局モヤラナイ、斯ウ云フコトヲ改メ、斯ウ云フコトヲ研究シ、實施指導サレル爲メノ政府デアリ、當局デアリマス、是ガ是デ宜イト云フコトデアラナラバ、是ハ藥劑師法ナドハ御撤廢ニナッタ方ガ宜イ、又藥劑師ト云フモノヲ今後學校……或ハサウ云フ養成ヲナサラナイト云フコトニ歸著スルコトト思ヒマス、或ハ一時ニ之ヲ實施スルト云フコトニ於テハ、醫師ハ此全國ニ五萬、藥劑師ハ二萬五千、其數ニ於テ足ラナイト云フコトデアリマスガ、之ヲ實施スルト云フコ

トニナレバ、直ニ藥劑師ガ出來ル、是ハ私ハ明言シマスガ、三萬、四萬、五萬位……要ラナイカラ出來ナイ、必要ヲ感ゼラレナイ、若クハ需要供給ノ途ガアリマスカラ、必要ヲ感ゼラレナイカラ、藥劑師ガ出來ナイ、出來ナイカラ現今ノ藥劑師ハ失業狀態デ、職ヲ奪ハレ、剝奪セラレテ鐵道省ノ切符切リヲシテ居ルト云フ有様デアリマス、之ヲ實施セラレバ忽チ殖エマス、三萬、四萬、五萬ニナリマス、又現今之ヲ實施スル上ニ於テ不便ヲ防グ途ハ幾ラモアル、山間僻陋ノ所ハ之ヲ醫師ノ許ニヤッテ藥劑師ヲ併用スルト云フコトモ出來マス、又特別例ト云フモノヲ設ケルト云フコトモ途デアル、是ハ容易ナコトデアル、詰リ是ハ政府ガ行ハナイ、唯從來ノ陋習デ、頭ガ古イ、唯詰リ藥ナコトヲ考ヘテ居ル、之ヲ行フト云フコトハ容易ナコトデナイト云フコトニ詰リ、是ハ政府ガ轉嫁シテ居ラレルノデアル、是ハソレダケノ誠意ト、勇斷ガアレバ、是ハ極メテ容易ナコトデアルト私ハ考ヘテ居リマス、就キマシテ私ハ此際斯様ニ、此本案ニ付テ希望條件ヲ附シタイト思ヒマス、「一、本法ノ趣旨ノ普及徹底ニ努メ且ツ手續ノ簡易化ヲ斷行スルコト、一、被保險者ニ對スル醫療ノ合理化ヲ圖リ其醫療配付ニ付テハ特ニ

監督ヲ嚴重ニスルコト、一、醫藥分業制度

ノ合理的實施ヲスルコト、以上三項デア
リマス、衆議院ニ於テハ、前後八回ニ互ッテ

委員會ガ開カレ、其論點ハ悉ク此醫藥兩制

度ノ缺陷ニ付テ論ゼラレテ居ル、而シテ第

五項ニ互ッテ希望條件ガ附セラレテ居リマ

ス、之ヲ以テ見マシテモ、社會ガ如何ニ此

健康保險ノ不利、不合理ナルコトヲ認メテ、

居ルカ、衆議院ニ於テハ未ダ會テ無イ所ノ

非常ナ緊張ヲシテ、委員會ニ於テハ回ニ互ッ

テ之ヲ論議セラレテ居ルノデアリマス、私

ハ衆議院ガ五箇ノ條件ヲ附シマシタコトヲ

要約シテ以上ノ三箇ヲ附シテ、本案ニ賛成

ヲスル者デアリマス

○金杉英五郎君 只今金岡委員ヨリ希望條

件ヲ附スルト云フコトノ御提案ガ出マシタ

ガ、私ハ最初無條件賛成ノ意思ヲ表シテ置

キマシタノデ、反對イタシマス

○子爵梅園篤彦君 希望條件ヲ附スベシト

主張セラルル御方ト、附スベカラズト主張

セラルル御方ト二ツノ御意見ガアルヤウデ

ゴザイマスルカラ、暫ク速記ヲ中止イタシ

マシテ、此希望條件ニ付テ懇談ヲスルト云

フコトニ致シマシテハ如何デゴザイマセウ

カ

○川崎卓吉君 只今ノ御意見ニ賛成ヲ致シ

マス

○委員長(伯爵松本宗隆君) ソレデハ暫ク

懇談會ニ移リマス、速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵松本宗隆君) ソレデハ懇談

會ヲ閉ヂマス、速記開始

○川崎卓吉君 私ハ矢張り此原案ニ賛成デ

アリマス、唯一二ノ希望ヲ申シテ置クノデ

アリマスルガ、本委員會開會以來金岡君カ

ラ、非常ニ醫藥分業ノ熱烈ナル御意見ガア

リマシタ、併シ此點ニ付テハ日本ノ所謂習

慣ト云フカ、美風ト云フカ直ニ實行ハ困難

デアラウト思ヒマスルシ、殊ニ健康保險制

度ノ實施ヲ醫藥分業ニ利用シヤウト云フヤ

ウナコトハナカ／＼ムツカシイ問題ダラウ

ト思ヒマスルカラ、此說ニハ賛成出來ナイ

ノデアリマスルガ、併シ金岡君ノ述ベラレ

タ御意見ノ中ニハ、非常ニ尊重スベキコト

ガ多數アルト思フ、現ニ保險醫デ違反行爲

ノ實例モ相當多數ニ上ッテ居リマス、是ハ發

覺シタ者ダケデアリマスガ、發覺セヌ者モ

亦相當アリハセスカト思フノデアリマス、

金岡君ノ御意見ハ政府ニ於テモ十分御參酌

ニナリマシテ、保險制度ノ此趣旨ガ能ク徹

底シマスルヤウニ今一段、實施上ノ御配慮

ヲ願フ次第デアリマス、ソレカラ茲ニ大阪

邊ノ工業ノ各種團體カラノ反對ノ意見ガ出

テ居リマス、ソレハ或ハ今度這入ルヤウナ

小サイ工場ハ家族同様ノ保護ヲ爲シテ居ル

モノ、其美風ヲ、保險制度ヲ廢メタラ破壊

スルノデハナイカ、或ハ法令ガ非常ニ難解

デアッテ、手續ガ非常ニ複雑デアアルガ爲ニ、

運用上ノ支障ヲ來シテ居ルト云フヤウナコ

トトカ、或ハ小サナ工場主ヲシテ斯ウ云フ制

度ヲ施行スルト云フト従業員ヲ減少セシム

ルヤウニナリハセヌカト云フヤウナコト

ガ、此各種工場、各種ノ工業ニ關スル會カ

ラノ反對意見トシテ出テ居ルヤウデアリマ

ス、是等ハ衆議院ニ於テ質問應答ヲ重ネラ

レマシテ、當業者ニ於キマシテモ相當了解

サレタモノダラウト思ヒマスノハ、餘リ貴

族院ニ對シテハ大シタ運動ガアリマセヌカ

ラ、相當了解ガ出來タモノトハ思フノデ

アリマス、又私共ガ衆議院ニ於テノ政府

ノ御説明ヲ聽キマシテ、政府ノ御説明ニ

信頼シテ宜イノデハナイカト、斯ウ云フ風

ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又貴族院ニ於

キマシテモ保險制度ノ規則ト云フモノハ、

取締規則ノ如ク嚴重ニ失スルモノデハナイ

ト云フヤウナ御説明モアッタノデアリマス

ルノデ、相當私共ハ信頼シテ宜イト思ヒマ

スルシ、又此事項ニ付キマシテモ、一年以

上モ猶餘期間ヲ置イテ、出來ルダケ手續等

モ簡易ニスルト云フヤウナ御方針ノヤウデ

アリマスルカラ、是亦政府ノ御説明ニ依頼

スル譯デアリマスルガ、ナカ／＼此地方ノ

官吏ハ、我ミ地方官トシテ地方ニ居リマシ

タ經驗、又中央ニ歸ッテノ經驗等ニ鑑ミマ

スト、中央ノ人間ガ思フ以上ニ、規則ニ拘

泥シタリシテ、當業者ガ困ルヤウナ問題ガ

隨分起ルノデアリマス、實際大阪ノ商工會

議所ノ人達ノ説明ヲ見マシテモ、隨分是等

ノ言フコトガ本當デアルトスルナラバ、相

當今日マデトモ此法規ノ解釋ガ非常ニム

ヅカシカタリ、色ミノ様式等ガ澤山アッ

タリシテ非常ニ困ッテ居ル、斯ウ云フヤウナ

狀況デ、小サナ工場ニマデ及ボスト云フコ

トデアルト戰慄ヲ感ゼザルヲ得ナイト云フ

ヤウナコトマデ云ッテ居ルヤウデアリマス、

斯ウ云フコトハ多少矢張り考ヘナクテハナ

ラス、多少デハナイ、大ニ考ヘナクチャナ

ラスコトデハナイカト考ヘマス、政府ハ既

ニ一年間ノ餘地ヲ置イテ、御研究ニナルト

云フノデアリマスカラ、此上質問スルコト

モ必要ナイト考ヘテ、質問イタサナカッタノ

デアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、

ドウカ十分御研究ニナリマスヤウニ、特ニ

ケノ希望ヲ申上ゲマシテ、此原案ニ賛成イ
タシマス

○委員長(伯爵松木宗隆君) チョット金岡
君ニ申上ゲマス、先刻御希望ノ件ハ之ヲ委
員會ノ決議トシテ現シタイト云フコトデア
リマシタガ、只今御懇談ノ結果ト致シマシ
テ、ソレハ金岡君ノ一委員トシテ熱烈ナル
御希望ト云フコトデ、委員長ガ御報告スル
コトト致シマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○金岡又左衛門君 承知イタシマシタ

○子爵梅園篤彦君 私モ亦本案ニ賛成イタ
スモノデアリマス、元來健康保險制度ハ勞
資協調ノ大精神ニ基キマシテ、被保險者ノ
生活ニ對スル國家的保險デアリ、且被保險
者ノ健康ノ保持ニアルト云フコトハ多言ヲ
要シナイコトデアリマス、從テ本法ノ目的
ガ勞働能率ノ保全ニアリ、産業能率ノ増進
ニアルコト亦申スマデモナイ所デアリマ
ス、然ルニ本改正案ニ於キマシテハ其趣旨
ヲ徹底シ、其目的ヲ達成スル爲ニ、其範圍
ノ擴張強化ヲ圖ラントスルモノデゴザイマ
ス、故ニ私ハ此意味ニ於キマシテ、本案ガ
未ダ盡サザル點モ多々アリマスルガ、此範
圍ノ擴張強化ヲ圖ラムトスル點ニ、社會的
見地カラ致シマシテ、滿腔ノ敬意ト贊意ト
ヲ表シマシテ、其完璧ヲバ將來ニ期シテ、

サウシテ本案ニ賛成イタス次第デアリマス

○委員長(伯爵松木宗隆君) 討論ハ最早終
結ト心得マスカラ、採決イタシマス、原案
ニ付キマシテ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵松木宗隆君) 御異議ガナイ
ト認メマス、全會一致可決ト認メマス、是
ニテ散會イタシマス

午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松木 宗隆君

副委員長 男爵松尾 義夫君

委員

公爵島津 忠承君

子爵梅園 篤彦君

川崎 卓吉君

金杉英五郎君

平尾喜三郎君

金岡又左衛門君

政府委員

社會局長官 丹羽 七郎君

社會局部長 富田愛次郎君

同 川西 實三君

大藏書記官 荒川 昌二君

陸軍政務次官 子爵土岐 章君

海軍政務次官 伯爵堀田 正恒君

昭和九年三月十五日印刷

昭和九年三月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局